



©松竹

令和8年
8月16日(日)

<子供チケット料金(全自由席)>

一般：2,300円

高校生以下：1,500円 ※4歳未満入場不可

主催：公益財団法人のべおか文化事業団

後援：延岡市教育委員会/夕刊デイリー新聞社/ケーブルメディアワイワイ/FMのべおか

【お問い合わせ】 野口蓮記念館 ☎(0982) 31-3337 延岡総合文化センター ☎(0982) 22-1855

野口蓮記念館

<3回公演(開場30分前)>

1回目 開演10:00 (長唄字幕有)

2回目 開演14:00 (長唄字幕有)

3回目 開演19:00 (長唄字幕無)



「連獅子」 上映時間55分

ここは文殊菩薩が住むという天竺の霊地清涼山にあるという神変不思議の橋、石橋の近く。そこへ手獅子を携えた狂言師がやってくる。狂言師たちは親獅子が仔獅子を谷底へ突き落とし、仔獅子が這い上がってくる姿を舞で表現するが、やがて舞い遊ぶ胡蝶に誘われるように去っていく。

清涼山の麓では浄土宗の僧遍念と法華宗の僧蓮念が出くわし、旅の道連れと喜び合うが、宗派が異なることを知ると言い争いを始める。一陣の風が吹き寄せると、二人は獅子が出現するのであろうと恐れ慄き、互いに手を取り慌ててその場を去っていく。そして、間もなく石橋には親獅子と仔獅子が現れる。



「らくだ」 上映時間52分

フグに当たって頓死した通称“らくだ”の馬太郎。仲間の半次は、吊いの金を用立てようと、紙屑買いの久六に声を掛けるが、らくだの家には売るものは何も無い——。

困った半次は久六を家主のもとに使いに出し、通夜の酒肴を出さないと、死人を担いでカンカンノウを躍らせるぞと脅す。ところが家主はらくだが死んだとあれば祝いたいと言い、その上死人のカンカンノウは見たことがないので初物を見たいものだと言いだす始末。これを聞いた半次はらくだの馬太郎の遺体を引き起こし、嫌がる久六に負わせて、ふたりで家主のもとへ向かう……。

<プレイガイド>

野口遵記念館/延岡総合文化センター
西村楽器延岡店/延岡市役所売店
門川町総合文化会館
日向市文化交流センター

【作品紹介HP】



【作品紹介動画】



【野口遵記念館案内図】



○招待枠の対象公演

- ・公演名：シネマ歌舞伎「連獅子/らくだ」
- ・公演日：令和8年8月16日（日）①10:00 ②14:00 ③19:00 【3回上映】
- ・会場：野口遵記念館 ホール

申請 URL: <https://logoform.jp/form/snXV/1663945>



申請 QR コード

○招待枠数

公演 「連獅子/らくだ」…親子 100 組（200 名）× 3 回上映

○招待枠の申込期限

公演 令和8年8月2日（月）10:00 ～ 令和8年8月13日（木）17:00

※各公演とも招待枠数を満了した時点で申込受付を締め切らせていただきます。

※無料招待に関しましては販売状況を考慮した上で招待開始時期が決まります。既にご購入された方に関しましては、交換・返金等は致しかねますのでご了承下さい。

※各公演、合計で先着 300 名の小中学生を無料でご招待し、保護者等の同伴者も 1 名のみ無料となります。